



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所
コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舩田正一
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
定時株主総会開催予定日 2026年9月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年9月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	7,302	△3.9	△166	—	△181	—	△174	—
2025年6月期	7,602	8.9	△5	—	4	△95.3	42	50.6

(注) 包括利益 2026年6月期 △174百万円(-%) 2025年6月期 42百万円(49.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	△42.54	—	△34.0	△7.0	△2.3
2025年6月期	10.53	—	7.4	0.2	△0.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	2,412	417	17.3	101.72
2025年6月期	2,897	610	21.1	149.04

(参考) 自己資本 2026年6月期 417百万円 2025年6月期 610百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	△198	△40	△220	760
2025年6月期	△32	69	111	1,219

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	5.25	5.25	21	50.0	3.9
2026年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年6月期の連結業績予想(2026年7月1日～2027年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,400		10		15		5	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) — 、除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年6月期	5,076,000株	2025年6月期	5,076,000株
2026年6月期	975,252株	2025年6月期	981,152株
2026年6月期	4,100,408株	2025年6月期	4,081,463株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績 (2025年7月1日~2026年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	373	11.8	△18	—	△85	—	△133	—
2025年6月期	333	△87.3	6	△106.2	△37	—	85	152.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年6月期	△32.61		—					
2025年6月期	20.87		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年6月期	1,455		362		25.2		88.32	
2025年6月期	1,729		514		29.8		125.70	

(参考) 自己資本 2026年6月期 362百万円 2025年6月期 514百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年7月1日から2026年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、企業の設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、内需を中心に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢を背景としたエネルギー価格の高騰や円安による輸入物価の上昇に加え、金融政策の正常化を巡る不確実性などから、物価動向や企業収益への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

花き業界においては、冠婚葬祭分野を中心に需要回復の動きが見られた一方で、国内生産者の減少や物流費の上昇、資材価格の高止まりなど、供給面での制約が続きました。また、為替変動の影響による輸入花材の仕入価格上昇が業界全体の収益を圧迫したほか、少人数化や高付加価値化など顧客ニーズの変化も進展しており、当社グループにおいても市場環境の変化を踏まえた事業運営を進めてまいりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる「グループ収益力の強化とサステナビリティ経営の推進による企業価値向上」を基本方針として、経営基盤の強化、各事業の収益性向上および持続的な成長に向けた体制整備に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、新たに肥料製造販売事業の売上が加わったものの、2025年6月30日付でシステム開発事業を譲渡したことによる売上減少の影響等により、7,302,607千円（前年同期比3.9%減）となりました。利益面では、営業損失は166,821千円（前年同期は、5,956千円の損失）、経常損失は181,363千円（前年同期は4,633千円の利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は174,427千円（前年同期は42,990千円の利益）となりました。

なお、当連結会計年度末の現金及び預金の残高は760,120千円であり、当面の間の運転資金が十分に賄える状況にあると考えております。また、当連結会計年度末の自己資本残高は417,112千円であるため、自己資本が著しく脆弱であるという状況にはありません。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

（生花祭壇事業）

生花祭壇事業の売上高は、4,015,577千円（前年同期比1.5%減）となりました。当社の取扱実績によりますと、施行件数は前期を下回って推移した一方、祭壇単価は地域や時期により差異が見られました。なお、葬儀業に関する公的統計は公表が終了しており、現時点では新たな統計データが存在しないため、当社では自社実績をもとに業界動向を把握しております。葬儀業界では、小規模葬儀の定着や葬儀形式の多様化が進む一方で、演出性や花装飾に一定の需要が見られるものの、葬儀単価は全国的に緩やかな下落傾向にあります。

このような環境のもと、当社では葬儀の小型化・多様化に対応したサービス提供を進めるとともに、地域特性に応じた事業運営やコスト管理に取り組んでまいりました。

その結果、花材価格や人件費の上昇等の影響に加え、施行件数の減少等により、営業利益は98,498千円（前年同期比54.9%減）となりました。

（生花卸売事業）

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、業務効率化の推進に加え、当社グループとしての競争力強化に取り組んでおります。当期は、冠婚葬祭分野を中心とした需要回復の動きが継続し、新規顧客の獲得や既存顧客への販売強化により販売数量は堅調に推移しました。一方で、円安の影響による仕入価格や物流費の高止まりに加え、商品構成や販売構成の変化などから、収益環境は厳しい状況が続きました。

東京都中央卸売市場「市場統計情報」（2026年6月分）によると、2025年7月から2026年6月までの切花累計の取扱金額は58,124百万円（前年同期比5.2%減）、数量では704百万本（前年同期比3.0%減）となりました。市場全体では数量・金額とも前年を下回る状況となる一方、単価は概ね前年並みで推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業（国内流通）と生花祭壇事業とのシナジー追求を図るとともに、販売価格への適正な転嫁、取扱品目の見直しなどにより収益力の向上に取り組んでまいりました。これらの施策を進めたものの、厳しい市場環境の影響を受け、売上高は2,516,924千円（前年同期比1.5%減）、営業損失は213千円（前年同期は58,414千円の利益）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は317,787千円（前年同期比5.4%減）、営業利益は6,397千円（前年同期は21,407千円の損失）となりました。

少子化による婚姻件数の減少を背景に、ブライダル市場全体の規模は概ね横ばいで推移しております。一方で、少人数・低価格志向の広がり、高付加価値・パーソナライズ志向の高まりによる二極化が進んでおり、オリジナリティを重視した挙式や演出への需要を背景に、一定の需要は維持されております。

ブライダル部門では、上半期の一部で前年の高水準からの反動や、一部主要会場における受注減等の影響が見られました。一方で、新規式場の稼働に加え、関西・福岡エリアを中心とした既存会場でのシェア拡大や受注増により、施行件数は通期で前年を上回りました。1件当たりの売上水準は、小規模婚礼やフォト婚の増加等により前年を下回ったものの、施行件数の増加により増収となりました。

リテール部門では、EC販売や一部店舗の売上が前年を下回ったことに加え、前年に高水準であった母の日商戦の反動等により減収となりました。一方で、販売価格の見直しや仕入原価の抑制、広告費及び人員配置の適正化など、収益性の改善に取り組んだことにより増益となりました。

この結果、ブライダル部門は増収増益となったものの、リテール部門の減収が影響し、ブライダル装花事業全体では減収となりました。利益面では、両部門における原価・経費管理の徹底や業務効率化の取組により、営業利益は前年同期を上回りました。

(その他)

その他の事業は、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業、レストラン事業、肥料製造販売を行っております。当連結会計年度においては、2025年6月30日付でシステム開発事業を譲渡したことにより当該事業分の売上が減少した一方、前期に売上計上のなかった肥料製造販売の売上が新たに加わりました。これらの結果、売上高は452,317千円（前年同期比28.7%減）となりました。利益面では、システム開発事業の譲渡により同事業に係る赤字が解消されたものの、農業部門においては連作障害の影響が継続したこと等により、営業損失は53,585千円（前年同期は29,949千円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ485,260千円減少し、2,412,303千円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ292,073千円減少し、1,995,190千円となりました。これは主に未払金及び借入金の減少によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ193,187千円減少し、417,112千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の21.1%から17.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ459,749千円減少し、760,120千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動の結果使用した資金は198,197千円（前年同期は32,589千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失182,293千円、及び法人税等の支払額45,384千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動の結果使用した資金は40,580千円（前年同期は69,790千円の獲得）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支払額41,661千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動の結果使用した資金は220,972千円（前年同期は111,293千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済205,193千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、内需を中心とした緩やかな回復が期待される一方、物価上昇やエネルギー・物流費の高止まり、人手不足に伴う人件費の増加に加え、金融政策や海外経済の動向など、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

花き業界におきましては、一日葬や家族葬など葬儀の小規模化・多様化が進む一方、付加価値の高い商品・サービスへのニーズは引き続き底堅く推移するものと見込まれます。また、ブライダル分野においては、婚姻件数の減少による市場縮小が続く一方で、高付加価値化や多様化する顧客ニーズへの対応がより重要になるものと考えております。

当社グループにおきましては、中期経営計画に基づき、D Xによる業務効率化や生産性向上、高付加価値サービスの拡充、グループシナジーの創出および収益基盤の強化に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。

以上を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高7,400,000千円（前連結会計年度比1.3%増）、営業利益10,000千円（前連結会計年度は、166,821千円の損失）、経常利益15,000千円（前連結会計年度は、181,363千円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益5,000千円（前連結会計年度は、174,427千円の損失）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社のI F R S（国際財務報告基準）の適用動向等を踏まえ、I F R S（国際財務報告基準）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,870	760,120
売掛金	581,333	542,590
商品	24,369	22,697
仕掛品	1,506	26,641
原材料及び貯蔵品	47,208	53,615
その他	99,858	94,791
貸倒引当金	△8,188	△5,947
流動資産合計	1,965,958	1,494,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	665,437	677,737
減価償却累計額	△337,621	△369,597
建物及び構築物（純額）	327,815	308,139
車両運搬具	28,298	19,005
減価償却累計額	△26,103	△18,229
車両運搬具（純額）	2,194	775
工具、器具及び備品	155,745	161,738
減価償却累計額	△135,440	△134,889
工具、器具及び備品（純額）	20,305	26,848
土地	223,479	223,479
その他	17,139	18,845
減価償却累計額	△13,712	△14,840
その他（純額）	3,426	4,004
有形固定資産合計	577,221	563,248
無形固定資産		
ソフトウェア	47,393	35,947
のれん	22,766	18,322
無形固定資産合計	70,160	54,269
投資その他の資産		
差入保証金	61,915	59,591
繰延税金資産	7,045	24,428
保険積立金	192,841	193,974
破産更生債権等	15,378	23,977
その他	13,723	15,536
貸倒引当金	△15,510	△23,043
投資その他の資産合計	275,394	294,465
固定資産合計	922,775	911,983
繰延資産		
開業費	8,830	5,810
繰延資産合計	8,830	5,810
資産合計	2,897,564	2,412,303

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,737	214,411
短期借入金	530,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	198,215	193,736
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	148,128	70,548
未払法人税等	33,061	8,191
未払費用	75,460	76,829
賞与引当金	210	2,477
資産除去債務	10,000	10,000
株主優待引当金	-	27,000
その他	133,199	92,795
流動負債合計	1,356,013	1,285,989
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	765,007	564,294
リース債務	36,225	34,392
退職給付に係る負債	71,511	72,008
資産除去債務	18,505	18,505
固定負債合計	931,250	709,201
負債合計	2,287,264	1,995,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	158,625	159,960
利益剰余金	456,956	261,031
自己株式	△218,522	△217,208
株主資本合計	610,300	417,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	89
その他の包括利益累計額合計	-	89
純資産合計	610,300	417,112
負債純資産合計	2,897,564	2,412,303

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,602,614	7,302,607
売上原価	6,627,300	6,596,210
売上総利益	975,313	706,397
販売費及び一般管理費	981,269	873,218
営業損失(△)	△5,956	△166,821
営業外収益		
受取利息及び配当金	459	1,545
為替差益	5,617	-
受取賃貸料	1,354	1,354
補助金収入	10,189	12,281
その他	15,505	7,509
営業外収益合計	33,126	22,691
営業外費用		
支払利息	16,590	21,339
為替差損	-	2,598
貸倒引当金繰入額	-	11,064
その他	5,945	2,231
営業外費用合計	22,536	37,233
経常利益又は経常損失(△)	4,633	△181,363
特別利益		
固定資産売却益	-	79
関係会社株式売却益	106,936	-
負ののれん発生益	15,918	-
特別利益合計	122,855	79
特別損失		
固定資産除売却損	87	-
投資有価証券評価損	10,001	-
減損損失	14,097	1,009
特別損失合計	24,186	1,009
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	103,302	△182,293
法人税、住民税及び事業税	55,420	9,614
法人税等調整額	5,186	△17,480
法人税等合計	60,607	△7,866
当期純利益又は当期純損失(△)	42,695	△174,427
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△295	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	42,990	△174,427

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	42,695	△174,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	89
その他の包括利益合計	△54	89
包括利益	42,641	△174,338
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	42,936	△174,338
非支配株主に係る包括利益	△295	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	152,407	405,282	△226,874	544,055
当期変動額					
剰余金の配当			△16,229		△16,229
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			42,990		42,990
自己株式の処分		6,218		8,352	14,570
企業結合による変動			24,912		24,912
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	6,218	51,674	8,352	66,244
当期末残高	213,240	158,625	456,956	△218,522	610,300

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	54	54	544,109
当期変動額			
剰余金の配当			△16,229
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			42,990
自己株式の処分			14,570
企業結合による変動			24,912
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△54	△54	△54
当期変動額合計	△54	△54	66,190
当期末残高	-	-	610,300

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	158,625	456,956	△218,522	610,300
当期変動額					
剰余金の配当			△21,497		△21,497
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△174,427		△174,427
自己株式の処分		1,335		1,314	2,649
企業結合による変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,335	△195,924	1,314	△193,275
当期末残高	213,240	159,960	261,031	△217,208	417,023

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	-	-	610,300
当期変動額			
剰余金の配当			△21,497
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△174,427
自己株式の処分			2,649
企業結合による変動			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	89	89	89
当期変動額合計	89	89	△193,186
当期末残高	89	89	417,112

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	103,302	△182,293
減価償却費	60,248	67,812
のれん償却額	1,668	4,444
減損損失	14,097	1,009
投資有価証券評価損益(△は益)	10,001	-
負ののれん発生益	△15,918	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△106,936	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	488	5,291
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	2,267
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,271	497
受取利息及び受取配当金	△459	△1,545
受取賃貸料	△1,354	△1,354
補助金収入	△10,189	△12,281
支払利息	16,590	21,339
固定資産除売却損益(△は益)	87	△79
売上債権の増減額(△は増加)	△26,179	36,406
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,587	△29,870
仕入債務の増減額(△は減少)	37,556	6,673
その他	△36,810	△80,507
小計	37,877	△162,191
利息及び配当金の受取額	459	1,545
賃貸料の受取額	1,354	1,354
補助金の受取額	10,530	12,428
利息の支払額	△17,182	△21,619
法人税等の支払額	△72,460	△45,384
法人税等の還付額	6,831	15,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,589	△198,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	30,000	1,032
有形及び無形固定資産の取得による支出	△91,164	△41,661
有形及び無形固定資産の売却による収入	34	40
投資有価証券の取得による支出	-	△140
保険積立金の積立による支出	△1,195	△1,188
差入保証金の差入による支出	△9,316	△115
差入保証金の回収による収入	1,749	1,541
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	33,457	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	104,985	-
その他	1,239	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,790	△40,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	60,000	40,000
長期借入れによる収入	297,600	-
長期借入金の返済による支出	△198,829	△205,193
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△16,229	△21,497
その他	△11,247	△14,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,293	△220,972
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	148,494	△459,749
現金及び現金同等物の期首残高	1,071,375	1,219,870
現金及び現金同等物の期末残高	1,219,870	760,120

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※1 関係会社株式売却益

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

当社は2025年6月13日開催の取締役会において、連結子会社であった株式会社SHFの全株式をRenga Partners株式会社へ譲渡することを決議し、2025年6月30日付で譲渡いたしました。これにより関係会社株式売却益として106,936千円を計上いたしました。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に冠婚葬祭の生花に係わる事業活動を展開している構成単位を集計し「生花祭壇事業」、「生花卸売事業」、「ブライダル装花事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

生花祭壇事業 : 生花祭壇、供花等、葬儀における生花を使用した商品を作成して販売する事業

生花卸売事業 : 自社の祭壇事業で使用する生花の仕入及び葬儀関連会社の生花部や生花小売店に対して、生花を販売する事業

ブライダル装花事業 : 婚礼用の会場装花やブーケ制作をして販売する事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

生花祭壇事業、ブライダル装花事業

生花祭壇事業、ブライダル装花事業においては、顧客に商品を引き渡すことで履行義務が充足されることから、引渡時点で収益認識を行っております。

生花卸売事業

生花卸売事業においては、顧客に商品を引き渡すことで履行義務が充足されると判断していますが、出荷時から納品時までの期間が通常の期間であるため、重要性等に関する代替的な取扱いを適用し、出荷時点で収益を認識しております。

その他の事業

その他の事業においては、葬儀の提供や就労継続支援事業のサービスまたは役務提供の完了により履行義務が充

足されることから、サービスまたは役務提供の完了時点で収益を認識しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	4,077,478	2,554,872	335,890	6,968,241	634,373	—	7,602,614
外部顧客への売上高	4,077,478	2,554,872	335,890	6,968,241	634,373	—	7,602,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,208	1,147,307	2,452	1,158,967	38,351	△1,197,319	—
計	4,086,686	3,702,179	338,343	8,127,209	672,724	△1,197,319	7,602,614
セグメント利益 又は損失(△)	218,368	58,414	△21,407	255,375	△29,949	△231,382	△5,956
その他の項目							
減価償却費	9,514	1,023	2,910	13,447	19,483	27,318	60,248
のれんの償却額	1,668	—	—	1,668	—	0	1,668
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	35,407	608	—	36,838	7,904	52,809	97,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業、農業並びに飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額△231,382千円には、セグメント間取引消去203,765千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△435,147千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	4,015,577	2,516,924	317,787	6,850,289	452,317	-	7,302,607
外部顧客への売上高	4,015,577	2,516,924	317,787	6,850,289	452,317	-	7,302,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,680	997,362	2,279	1,007,322	30,920	△1,038,242	-
計	4,023,258	3,514,287	320,066	7,857,612	483,237	△1,038,242	7,302,607
セグメント利益 又は損失(△)	98,498	△213	6,397	104,682	△53,585	△217,918	△166,821
その他の項目							
減価償却費	14,902	1,068	520	16,492	20,027	31,292	67,812
のれんの償却額	1,668	-	-	1,668	2,775	-	4,444
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	22,008	-	210	22,218	8,968	11,164	42,351

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルティング事業、就労継続支援事業、農業並びに飲食事業並びに肥料製造販売であります。
2. セグメント利益の調整額△217,918千円には、セグメント間取引消去275,134千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△493,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	862	—	9,966	3,269	—	14,097

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,009	—	—	—	—	1,009

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	3,337	—	—	19,429	—	22,766

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	1,668	—	—	16,653	—	18,322

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当連結会計年度末において存在する顧客との契約から翌連結会計年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

当社及び連結子会社の契約資産及び契約負債については、残高に重要性が乏しく、重要な変動も発生していないため、記載を省略しています。また、過去の期間に充足（又は部分的に充足）した履行義務から、当連結会計年度に認識した収益に重要性はありません。

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

当社及び連結子会社では、残存履行義務に配分した取引価格については、当初に予想される契約期間が1年を超える重要な契約がないため、実務上の便法を適用し、記載を省略しています。また、顧客との契約から生じる対価の中に、取引価格に含まれていない重要な金額はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	149円04銭	101円72銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	10円53銭	△42円54銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	42,990	△174,427
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	42,990	△174,427
期中平均株式数(株)	4,081,463	4,100,408
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。